

# 無曝気循環式水処理技術実証事業

## 実証事業実施者

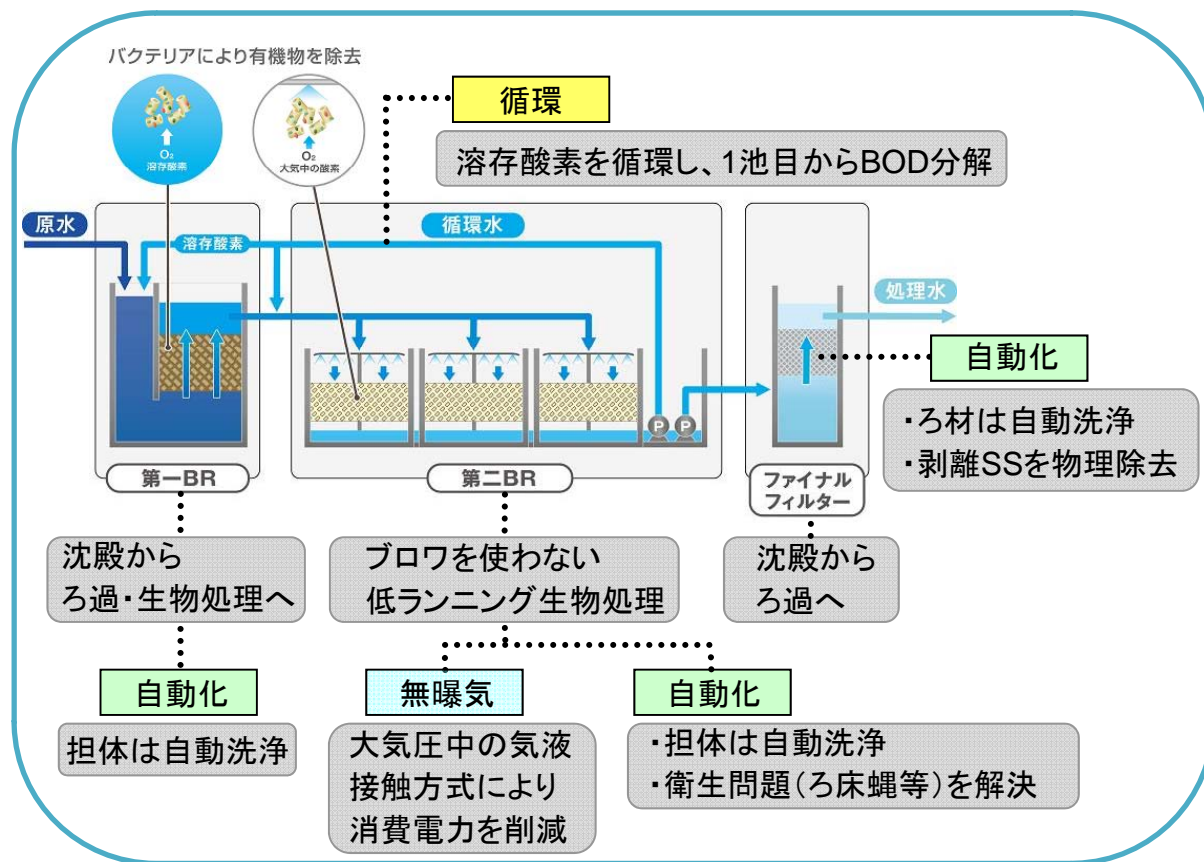
高知市・高知大学・日本下水道事業団・メタウォーター(株) 共同研究体

## 実証フィールド

高知市下知下水処理場

## 実証の概要

- ①「既施設を活用し、良好な処理水質を確保しながら消費エネルギーを抑制する」技術として、『無曝気循環式水処理技術』を実証。
- ②「第一バイリアクター（以下、第一BRと略す）」、「第二バイリアクター（以下、第二BRと略す）」及び「ファイナルフィルター（以下、ファイナルFと略す）」で構成。それぞれ標準活性汚泥法の最初沈殿池、エアレーションタンク及び最終沈殿池を大幅な改造を伴わずに改造。
- ③「第一BR」及び「第二BR」における効率的な生物処理の実証。「ファイナルF」における効率的な固形物除去の実証。トータルで放流水基準達成の実証。



## ○提案技術の革新性等の特徴

- (1) 無曝気での酸素供給により、消費電力を大幅削減
- (2) 循環による安定した良好な処理水質の確保
- (3) 自動化によるシステム安定性確保
- (4) 特別な制御を必要とせず、熟練技術者が不要